

本章では、保健事業の展開におけるデータ利活用の実例として、千葉県内の4つの自治体（木更津市、横芝光町、松戸市、印西市）における取組をご紹介します。なお、ここで紹介する事例は、2022年2月15日～18日に実施された「千葉県国保ヘルスアップ支援事業分析報告会」において報告された内容です。

木更津市、横芝光町の事例では、データヘルス計画の中間評価の結果とそれを踏まえた保健事業の展開方法についてご紹介しています。

木更津市では、国保データ（KDBシステム）だけでなく、その他の保健事業（各種健診）の結果も分析することで、30代を対象とした若年健診を企画、実施されました。その結果、特定健診保健指導事業の結果にも波及効果があったことが示されています。若年健診の企画では、定量的なデータだけでなく、家庭訪問などの活動を通じて得られた定性的なデータを根拠に、若年健診を通じてその子ども世代の生活習慣改善にも働きかける、ライフコースを考慮した事業を展開されていた点も参考になります。また、木更津市では、管内のほか3市（袖ヶ浦市、君津市、富津市）とともに、腎臓病地域連携パスを作成するなど、CKD予防のための医療連携に向けた先駆的な活動も展開されています。

横芝光町では、KDBシステムを丁寧に読み解き、データヘルス計画の中間評価を通じて、保健事業の見直しをされました。特に、特定保健指導に関しては、データから見えてきた対象者の特性をふまえて、ハイリスクだけでなく、ポピュレーションアプローチを行うことにより、新型コロナウイルス対策の影響で、人材が不足する中でも、確実に事業を運営することができていました。

松戸市と印西市からは、両市の健康課題の中でも特に優先度の高い糖尿病対策に焦点を当て、糖尿病重症化予防プログラムの実際についてご紹介いただきました。

松戸市では、データ分析結果に基づき、糖尿病重症化予防プログラムの対象者選定にかかる独自の分類を設け、ハイリスク者の基準を明確化していました。また、それを市内の関係者と共有することにより、必要な人を確実に医療につなげ、透析移行を防止する仕組みを整備していました。市医師会をはじめとする関係者に、市の糖尿病にかかる現状をデータで示し、問題意識を共有することにより、松戸市糖尿病対策推進ネットワーク会議を立ち上げ、専門医・かかりつけ医と行政が連携して地域で療養する糖尿病患者を支援する仕組みを整備されている点も参考になります。

印西市では、千葉県の糖尿病重症化予防プログラムの対象者選定基準に即して事業を展開されていますが、KDBシステムだけでなく、最新の健診データを独自に管理分析し、データに基づく対象者選定を丁寧にを行い、確実に保健指導を実施できるよう体制を構築していました。医療機関とともに診察依頼兼診察結果報告書を作成するなど、医療機関との連携を推進するための体制整備への工夫もされていました。

報告会では、以上の事例を参考に、小グループに分かれて各自治体が抱える保健事業運営上の課題やデータ利活用に関する困りごとなどが共有されました。共通して挙げられた課題として、「KDBシステムによって示されたデータをどのように解釈し保健事業に生かしたらよいのかわからない」、「糖尿病重症化予防では、医師会をはじめ、地域の関係者との連携が困難である」などがありました。また、担当者の交代などの影響により「KDBシステムを使用したことがない、操作がわからず使っていない」などの意見もありました。データの利活用では、データ分析を民間企業に委託している自治体もあり、健康課題の解決を推進するために、適切に業者を選定し、活用する能力も必要になると考えられました。

詳細については、次ページ以降の報告会の発表資料と、付属のDVDをご覧ください。

木更津市

木更津市における 健康課題解決に向けた取り組み





ようこそ木更津へ
welcom to Kisarazu

都会に1番近い自然があるまち



常住人口 136,322 (R3.8月末) 人口微増傾向

年少人口割合 12.7%

生産年齢人口割合 59.3%

高齢人口割合 28.0%

(国28.8%、県27.3%)

(R3内閣府高齢者白書、R3木更津市政概要より)

国保被保険者数 27,978人(R3.4.1)

特定健診対象者数 20,637人(R3.5.21)

地域医療 (KDB : 人口千人対)

病院数 0.4 (県0.2)

診療所数 3.2 (県2.7)

病床数 69.9 (県42.7)

医師数 11.1 (県8.8)

※一般に病床数が多い市町村は医療費が高くなるといわれますが、木更津市は国、同規模市より1人あたり1500~1600円低くなっています

Q木更津市ってどんなところ？

A. 都心から近くて、便利で、活気あるまちです



木更津市は、東京から東京湾をはさんで南東へ約30km、東京湾アクアラインの接岸地に位置します。潮干狩りが有名で、晴れた日には富士山を望むことができます。

東京湾を渡る高速バスは、毎年増便を重ねており、都心へのアクセスが良好です。

また、テレビドラマ「木更津キャッツアイ」や、ロックグループ気志團の出身地、多くのドラマのロケ地としても注目を浴びています。

東京湾アクアライン料金引下げ社会実験（ETC800円）を契機に、「三井アウトレットパーク木更津」や「イオンモール木更津」の立地が進むとともに、子育て世代を中心に人口流入が続き、11年連続人口増と活気があるまちです。

Q木更津市の魅力って？③

A. “嬉しい・楽しい”施設が近くにいっぱい



【東葛城スパホテル三日月】
『ゆったりたっぷりの〜んびり』のCMでお馴染みの温泉テーマパーク。



【イオンモール木更津】
150を超える専門店や総合スーパー、大人数でも遊べるバーベキュー場、体感型シアター4DXを備えたシネマコンプレックスなど、レジャーも楽しめる施設です。



【三井アウトレットパーク木更津】
平成30年秋店舗数アウトレット日本一



2022年コストコ日本が木更津市に本社移転。雇用創出や移住に期待。2020年、災害物資調達協定締結



木更津市の健康課題

木更津市が使用しているシステム

- ①健康かるて、②マルチメーカー、③国保データベース(KDB) で分析



小児生活習慣病予防健診
第3次健康きさらづ21
データヘルス計画中間評価

※母子は除きます

1 学童期・思春期の健康課題

～小児生活習慣病予防健診から～

肥満度20%以上 小5・6男児 4年で1.3倍
 中学生男子 4年で1.6倍
 中学生女子 4年で1.3倍

朝食欠食率 小・中学生 4年で1.3倍

LDL有所見率 小4 22.4% 4年で1.2倍
 中2 15.2% 4年で1.2倍

中学生の4人に1人は
朝食を食べていない!!
小4の4.5人に1人は
LDL有所見者



血液検査は、小4と中2で実施



項目	目標値	H28	R2	R2/H28比
小5・6肥満度20%以上 男	10%以下	12.2%	15.8%	1.3倍
小5・6肥満度20%以上 女	5%以下	10.2%	10.3%	1.0倍
中学生 肥満度20%以上 男	6%以下	8.7%	13.8%	1.6倍
中学生 肥満度20%以上 女	6%以下	8.4%	11.2%	1.3倍
朝食欠食率 小学生	0%	10.0%	13.3%	1.3倍
朝食欠食率 中学生	0%	18.4%	23.0%	1.3倍
小4 LDL有所見率	減少	18.8%	22.4%	1.2倍
中2 LDL有所見率	減少	12.3%	15.2%	1.2倍

小児生活習慣病予防健診及び児童・生徒定期健康診断

2 30歳代の健康課題

BMI 25以上 男36.7%、女14.6%
 (4年で1.25倍)

朝食欠食率 男37%、女22%

LDL160以上 7.1%(4年で1.6倍)

男性の3人に1人、
女性の4.5人に1人
は朝食を
食べていない!!
男性の3人に1人は
肥満者

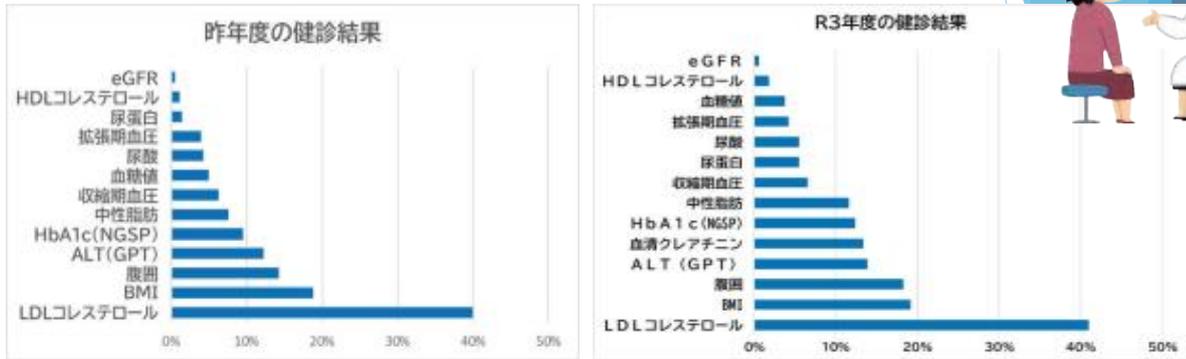


項目	目標値	H28	R2	R2/H28比
肥満(BMI25以上) 男	減少	30.0%	36.7%	1.2倍
肥満(BMI25以上) 女	減少	11.6%	14.6%	1.3倍
メタボ該当者	減少	2.5%	3.0%	1.2倍
朝食欠食率 男	30%以下	36.8%	37.0%	1.0倍
朝食欠食率 女	15%以下	20.7%	22.0%	1.1倍
LDL160以上有所見率	減少	4.4%	7.1%	1.6倍

木更津市若年期(30歳代)健康診査



30歳代の健診結果の有所見状況と保健事業実績



肥満者の保健指導率は、90.9%（栄養士が実施）
 重症化予防保健指導率は、94.7%（保健師が実施）
 集団健康教育参加率は、78.0%（保健師、栄養士が実施）
 と高い実施率を維持しています。（R3年度）

30歳代への保健事業（ポピュレーションアプローチ）

小中学生・30歳代の朝食欠食率が高いことから、食生活改善サポーターが朝食についてのチラシを作成し健診会場で配布しました。

結果説明会、健康教育



私たちは、食生活サポーターボランティア団体です。

翌年以降の活動に向けてアンケートを取り、その結果から来年の活動を展開していく予定となっております。

受診者のお子様も聞いています